

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
AM12Z302	健康科学概論 ( Introduction to Health Science )	基礎分野科目

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	1	1	前	金・4	山本恭子 内線:6741 E-mail:kyoko-yamamoto@oita-u.ac.jp

#### 【授業の概要・到達目標】

豊かな人間性と生命の尊厳についての深い認識を有し、人の命と健康を守る医師・看護師としての職責を自覚する。キャリアを意識し、生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲と態度を有する。他者と協働し、建設的な議論を行い、チームで課題に取り組む姿勢を養う。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる					○		
2. 病気・健康・医療・死をめぐる文化的な多様性を説明できる				○			
3. 医の倫理と生命倫理に関する規範、ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言などを概説できる				○			
4. 臨床倫理や生と死に関わる倫理的問題を概説できる				○			
5. 医療が多くの特設家の協力体制で成立していることを概説できる		○					
6. 在宅における終末期医療、看取りの在り方と課題を概説できる					○		
7. 文化・ジェンダーと医療の関係を考えることができる					○		
8. 生涯学習の重要性を説明できる						○	
9. 将来医療人として自分自身が備えるべき資質について説明でき、それに基づき行動できる				○		○	
10. コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる		○					

#### 【授業の内容】

1	解剖学にみる中津藩蘭学とパイオニア精神 -前野良沢から田原淳へ- : 川島 真人 理事長、川島整形外科病院
2	人間の生老病死の四苦にどう対応するか: 田畑 正久 客員教授、龍谷大学 真宗学研究科
3	医療は平等か公平か: 山本恭子准教授、医学教育センター
4	病とともに生きるとは?: 脇幸子教授、成人看護学
5	性感染症・無月経・卵子の老化とその後の人生: 榎原 久司 名誉教授、大分大学
6	医療の論理と倫理をめぐって: 中野 重行 名誉教授、大分大学
7	医療人のダイバーシティ推進: 松浦 恵子 教授、医学生物学
8	医療専門職として、いのちとどう向き合うか: 清村 紀子 教授、基礎看護学
9	かけがえのない今を生きる 一生と死の緩和ケアの現場から- : 山岡 憲夫 院長、やまおか在宅クリニック
10	医療タスクとチーム医療: 穴井 博文教授、先進医療科学科
11	グループ討論「医療人として今、身に付けておくべき資質とは」「医療人として男女ともにキャリアを継続するためには何が必要か」
12	全体発表会
13	
14	
15	

#### 【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A: 知識の定着・確認	○	グループ討論(KJ法、二次元展開法)を行い、その成果物を作成する。	LMS(Moodle)の活用(事前アンケート、相互評価、レポート提出)
B: 意見の表現・交換	○	全体発表会で発表し、相互評価を行う。	
C: 応用志向	○	課題レポートの提出。	
D: 知識の活用・創造			

#### 【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	事前にMoodle上に掲載された資料で予習する(5h)。
事後学修	関連書籍(医学の歴史など)による自己学習を行う(3h)。 講義の配布資料を読んで復習し、課題レポートを作成する(5h)。

【教科書】教科書を指定しない

【参考書】医学の歴史 小川鼎三 中公新書 (ISBN4-12-100039-0)  
新医学概論 森岡恭彦 編 産業図書 (ISBN4-7828-8009-X C3047)  
まんが医学の歴史 茨木 保 著 医学書院 (ISBN978-4-260-00573-9)

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
課題レポート	60%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
グループ討論の態度	30%							○	○	○	○
全体発表会のプロダクト	10%							○	○	○	○

授業時間の3分の2以上の出席がなければ、単位は与えません。

【注意事項】 諸事情により各講師の講義日、講義時限あるいは担当講師、講義内容が変更になる可能性があります。講師の予定により日時・順番が変更になる場合があります。

【備考】 講義時間：金曜日第4限目(14:50~16:20)  
講義室：臨床大講義室で実施します。可能な限り対面で行いますが、グループ討論と発表会を含めて、オンライン授業になる可能性があります。

教員の実務経験の有無	有	
教員の実務経験	医師・看護師。臨床検査技師・臨床工学士として臨床経験あり	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	有	
教員以外の指導に関わる実務経験者	医師・看護師。臨床検査技師・臨床工学士として臨床経験あり	
実務経験をいかした教育内容	医師・看護師・臨床検査技師・臨床工学士として臨床や研究の経験を生かした授業を行う。	
授業形態	対面	